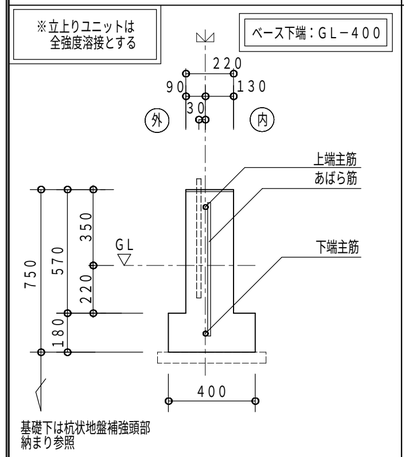
PS3AGN−40

杭状地盤補強用　外壁線布基礎

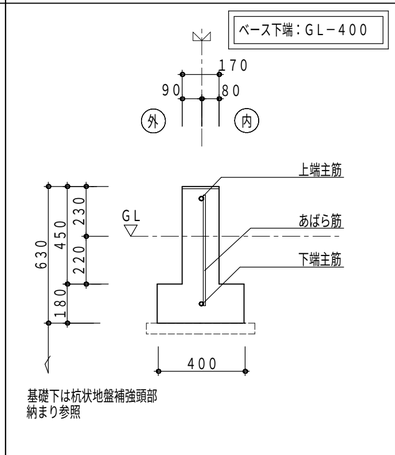
※立上りユニットは全強度溶接とする



上端主筋	1−D22（SD345）
下端主筋	1−D22（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D13 @300
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS3R1GN−40C1

杭状地盤補強用外壁線布基礎（上端カット）



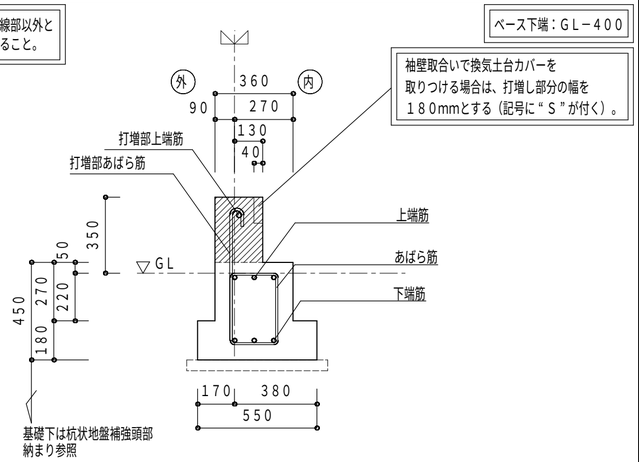
上端主筋	1−D19（SD345）
下端主筋	1−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D10@220
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS3AGN−55P（S）F

杭状地盤補強用　外壁線布基礎

打増部（斜線部）は原則斜線部以外と一体でコンクリート打設すること。

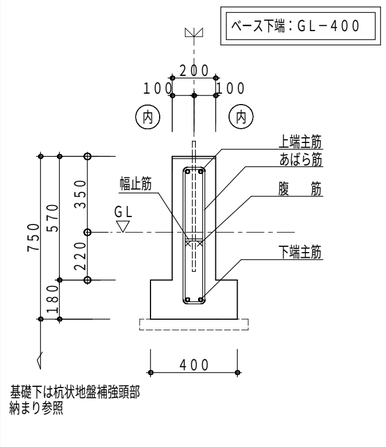
袖壁取合いで換気土台カバーを取りつける場合は、打増し部分の幅を180mmとする（記号に“S”が付く）。



打増部上端筋	1−D22（SD345）
打増部あばら筋	D13 @190
上端筋	3−D19（SD345）
下端筋	3−D19（SD345）
あばら筋	□−D10 @150
ベース主筋	−
ベース補助筋	−

PH3ANN−40

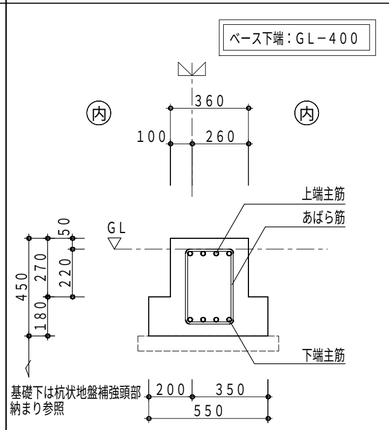
杭状地盤補強用　間仕切布基礎



上端主筋	2−D19（SD345）
下端主筋	2−D19（SD345）
腹筋	2−D10
幅止筋	1−D10@1000
あばら筋	□−D10@250
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PH3ANN−55P

杭状地盤補強用　間仕切布基礎

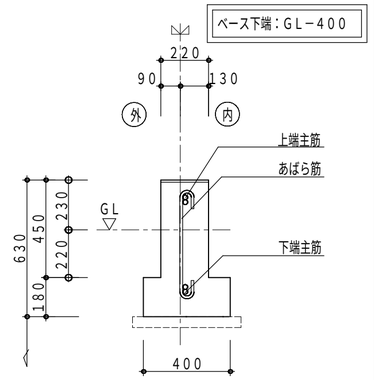


基礎天端に鋼製束が配置される場合は、束の調整が必要。（部品は同一部品）

上端主筋＊	or 4−D19（SD345） 3−D22（SD345）
下端主筋＊	or 4−D19（SD345） 3−D22（SD345）
あばら筋	□−D10 @190
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS3AGN−40C1

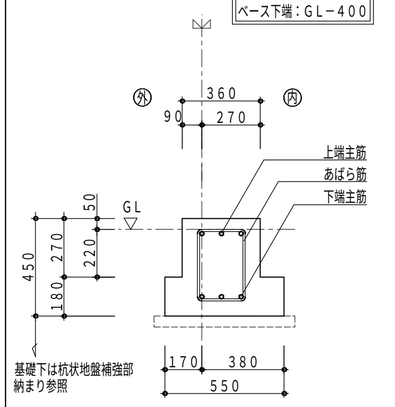
杭状地盤補強用　外壁線布基礎



上端主筋	2−D19（SD345）
下端主筋	2−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D13@300
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PH3AGN−55P

杭状地盤補強用　外壁線布基礎



打増部（斜線部）は斜線部以外と一体でコンクリート打設すること。

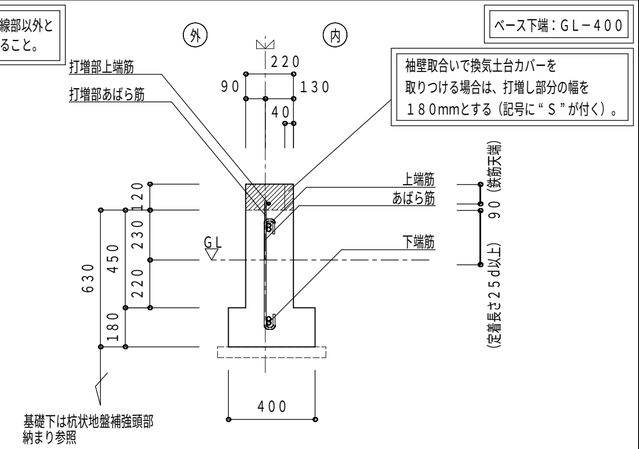
上端主筋	3−D19（SD345）
下端主筋	3−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	□−D10@150
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

PS3AGN−40（S）C1F

杭状地盤補強用　外壁線布基礎

打増部（斜線部）は原則斜線部以外と一体でコンクリート打設すること。

袖壁取合いで換気土台カバーを取りつける場合は、打増し部分の幅を180mmとする（記号に“S”が付く）。

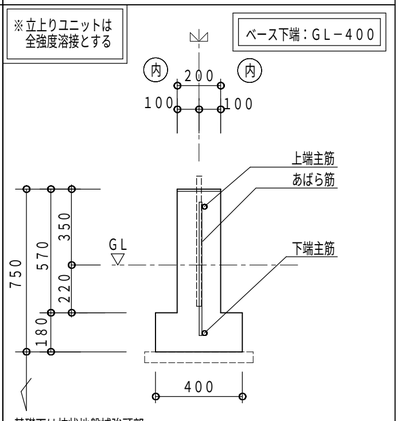


上端筋	2−D19（SD345）
下端筋	2−D19（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D13 @300
ベース主筋	−
ベース補助筋	−
打増部上端筋	1−D13
打増部あばら筋	D10 @300

PS3ANN−40

杭状地盤補強用　間仕切布基礎

※立上りユニットは全強度溶接とする



上端主筋	1−D22（SD345）
下端主筋	1−D22（SD345）
腹筋	−
あばら筋	D13 @300
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

投入図 '26.10.21 大和ハウス工業（株）

05188201608000　2026/10/5

記事

※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

大和ハウス工業株式会社

富山支店　集合住宅一級建築士事務所

承認	照査	代表となる設計者
	杉	一級建築士　第352400号 杉　紗織
その他の設計者	企画製図	生産製図
	宮崎	大連（名古屋）

工事名称	D−Grande布瀬E　新築工事
図面名称	各伏図

作成年月日

縮尺

工事番号 0512571100002

図面番号 S−01

保管図面区分 【伏図】

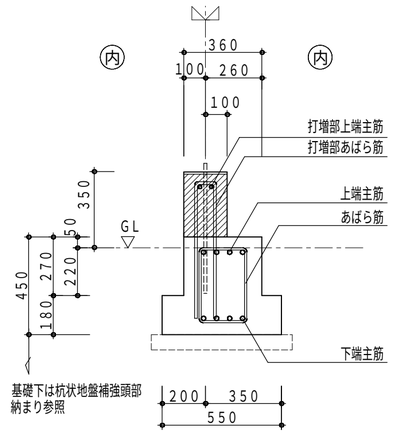
Ver　26091

102140

PH3ANN−55PF

杭状地盤補強用　間仕切布基礎

ベース下端：GL−400



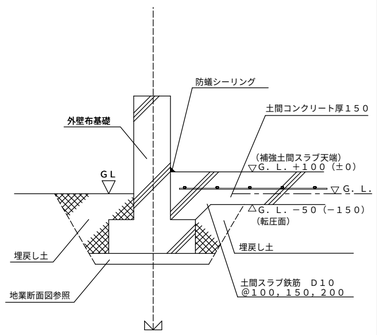
打増部上端主筋	2−D19（SD345）
打増部あばら筋	U−D10　@190
上端主筋＊	4−D19（SD345） or 3−D22（SD345）
下端主筋＊	4−D19（SD345） or 3−D22（SD345）
あばら筋	□−D10　@190
ベース主筋	なし
ベース補助筋	なし

打増部（斜線部）は斜線部以外と
一体でコンクリート打設すること。

基礎天端に鋼製束が配置される場合は、
束の調整が必要。（部品は同一部品）

凡例

補強土間スラブ



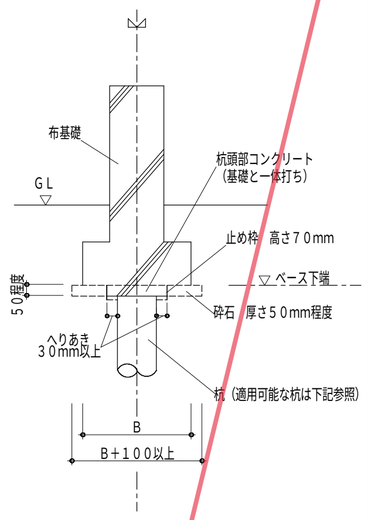
（　）は内は一般部の基礎の立ち上がりが
４５０mm以外を示す。

凡例

地業断面図　　D地盤

杭地業タイプA

止め枠（鋼管またはVU管）を用いる仕様



適用可能杭

- 小口径鋼管杭工法
- D−TEC　SPAIRAL工法
- 木杭工法
- 既成コンクリート杭工法
  （PC杭、RC杭、H型PC杭）
- 現場打ちコンクリート杭工法
- ピュアパイル工法

等、杭径が小さいもので
かつ、止め枠がベースからはみ出さないもの

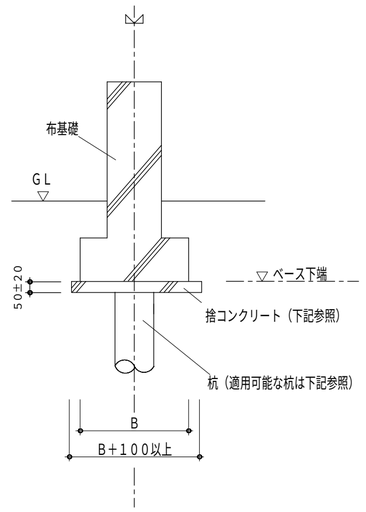
凡例

地業断面図　　D地盤

杭地業タイプB

止め枠を使用せず、捨コンクリートをいったん打設した後に
基礎本体の打設を行う仕様

小口径鋼管杭工法等の場合



適用可能杭

- 小口径鋼管杭工法
- D−TEC　SPAIRAL工法
- 木杭工法
- 既成コンクリート杭工法
  （PC杭、RC杭、H型PC杭）
- 現場打ちコンクリート杭工法
- ピュアパイル工法

等、杭径が小さいもの。

捨コンクリート

捨コンクリート
（品質基準強度　Fq＝
21N／mm²　＋構造体強度補正値　以上）
※構造体補正値については、
JASS5　5節5．2を参照

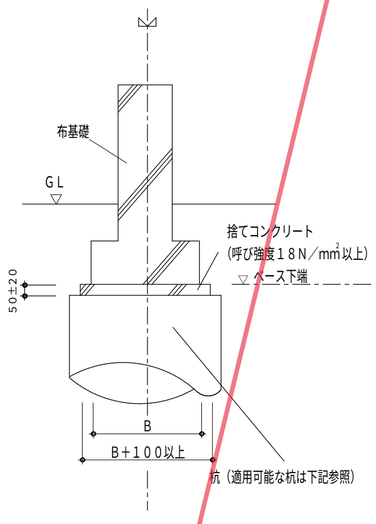
凡例

地業断面図　　D地盤

杭地業タイプB

止め枠を使用せず、捨コンクリートをいったん打設した後に
基礎本体の打設を行う仕様

柱状改良工法等の場合



適用可能杭

- 柱状改良工法
- タイガーパイル工法
- Newタイガーパイル工法
- しん兵衛工法

等、杭径が大きいもの。

凡例

D地盤における基礎の地業

- D地盤の基礎の地業の捨コンクリートは、
  厚さ50±20の範囲で施工すること。
- 杭地業タイプAの場合は
  砕石地業施工要領（小口径鋼管杭）
  ［B100−101−011］参照のこと。
- 各杭工法の適用範囲及び設計条件は、
  各杭工法毎の第三者機関による
  建築技術性能証明の内容に従うものとする。
- 各杭工法の採用できる杭径は、
  杭設計システムに登録されているものに限る。
- 自社工法（D−TEC　PILE工法、
  D−TEC　PILE工法II、
  D−TEC　SPIRAL工法）
  柱状改良工法以外の杭工法の
  設計施工基準については、
  施工会社に確認するものとする。

投入図
'26.10.21
大和ハウス工業（株）

0518820160800 0　2026/10/5

記事

※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

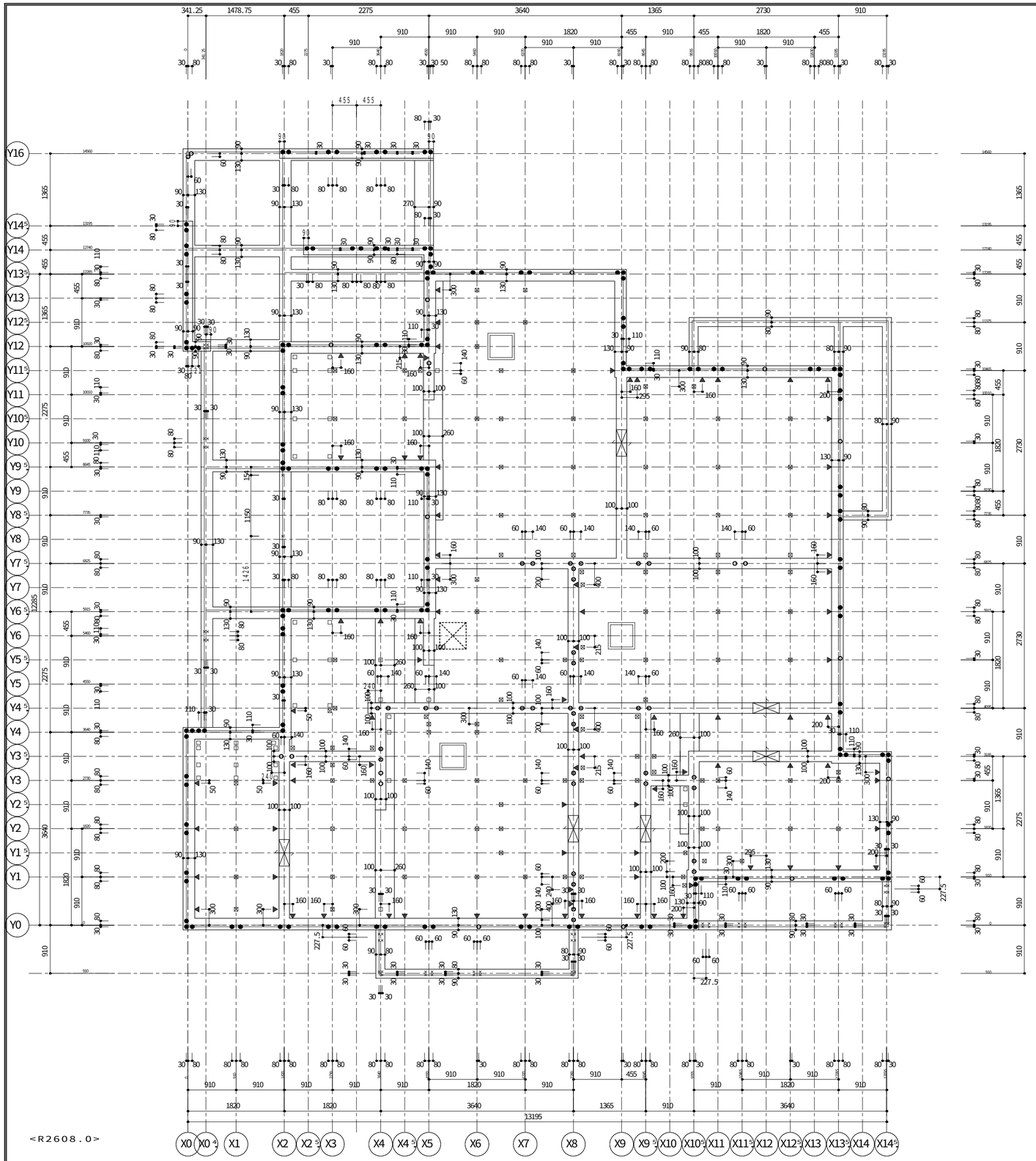
大和ハウス工業株式会社

富山支店 集合住宅一級建築士事務所

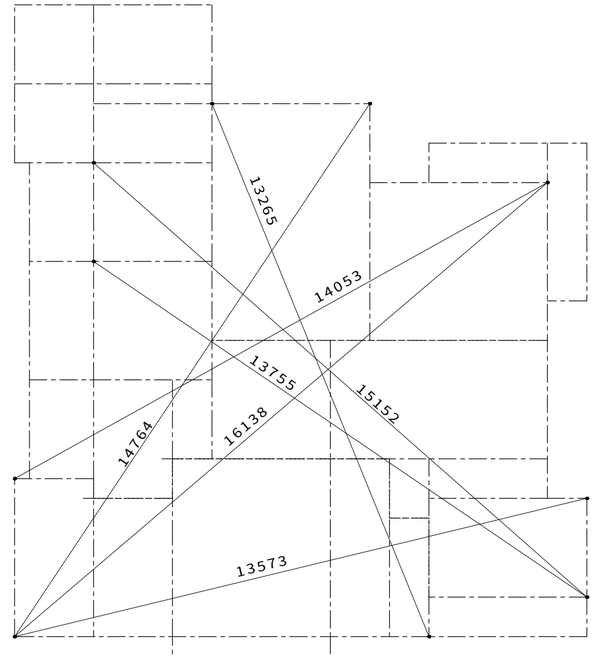
承認	照査	代表となる設計者			
	杉	一級建築士　第352400号 杉　紗織			
その他の設計者		企画製図	生産製図	ＩＣ	
		宮崎	大連 （名古屋）		

工事名称	D−Grande布瀬E　新築工事	作成年月日	図面番号 S−02
図面名称	各伏図	縮尺	保管図面区分 【伏図】
		工事番号 0512571100002	

Ver　26091　　102140



【基礎立上り・アンカー伏図】ＨＶ５２　Ｓ＝１／６０



3A　3C3B
2A　2C2B
1A　1C1B

【対角寸法図】ＨＶ０３　Ｓ＝１／１００

(注)　対角寸法はモジュール芯における寸法とする。

※外装腰壁部はメーカー材工品のため
メーカー施工のホールインアンカーは
表示されていません。
土間コンが流入しないよう忘れずに
脚部の箱抜きを行ってください。

凡 例

(注) コンクリート設計基準強度

基礎　：２４Ｎ／平方ミリとする。
（※対象部位：布基礎、独立基礎、くい基礎用１階床スラブ、くい基礎１階床束用補強基礎及び補強束束ベース）

~~土間コン（無筋の場合）：１８Ｎ／平方ミリ以上とする。~~

凡 例

アンカーボルト

● ＤＭ２０　Ｉ型　Ｍ２０　Ｌ＝５５０　（出寸法５０）
○ ＤＭ１６　Ｉ型　Ｍ１６　Ｌ＝５２０　（出寸法４５）
⊗ ＩＴ２２Ｓ　Ｉ型　Ｍ２２　Ｌ＝６００（出寸法５０）
× ＬＭ１２　Ｌ型　Ｍ１２　Ｌ＝３００　（出寸法３０）

出寸法

▼ インサートナット　Ｍ－８
床下換気孔（丸型）　□２００φ
床下換気孔（丸型）　□１４０φ
床下貫通口　５００×２５０（２００）
※深基礎がある場合、
床下貫通口は全て５００×２００とすること。

スリーブ　▽
鋼製束　⊠ ＮＬＫ－４ＮＡ　■ ＮＬＫ－２３ＮＡ
□ ＮＬＫ－３ＮＡ

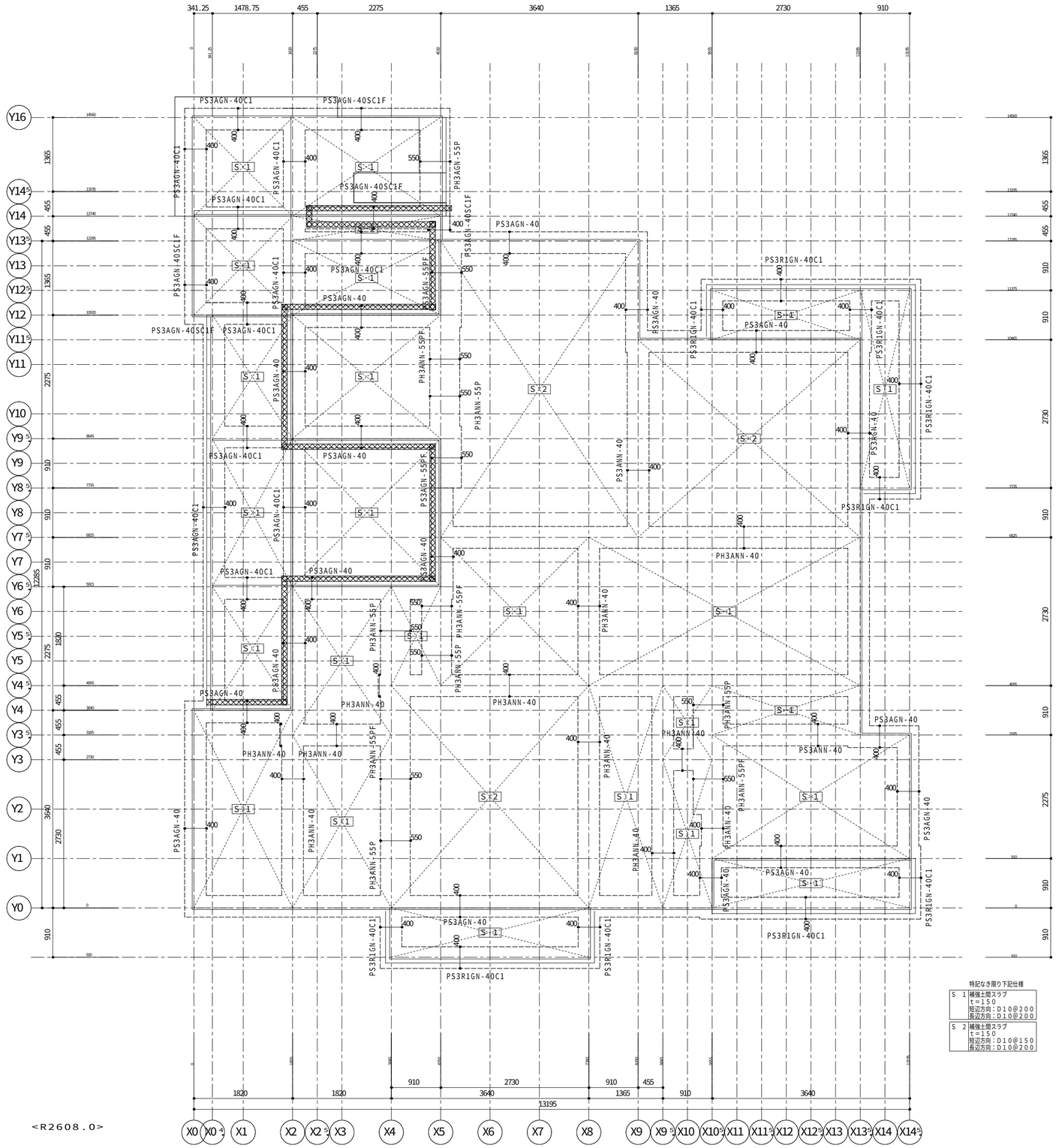
※　土間コン施工時、
腰壁・廊下柱などの部位は箱抜きを行うこと。
※　鋼製束記号末尾Ａ付きはコンクリート釘別仕切り

投入図
'26.10.21
大和ハウス工業（株）

0518820160800O　2026/10/5

記事	※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。	大和ハウス工業株式会社 富山支店 集合住宅一級建築士事務所	承認	照査 杉	代表となる設計者 一級建築士　第352400号 杉　紗織	工事名称	D－Grande布瀬E　新築工事	作成年月日	図面番号 S－03
			その他の設計者		企画製図 宮崎 / 生産製図 大連（名古屋） / ＩＣ	図面名称	各伏図	工事番号 0512571100002	保管図面区分 【伏図】

Ver　26091　　102140



<R2608.0>

【基礎ベース・土間伏図】ＨＶ５３　Ｓ＝１／６０

土間仕様
補強土間スラブ
　土間コンクリート　　ｔ＝１５０

凡 例

(注) コンクリート設計基準強度
基礎　：２４Ｎ／平方ミリとする。
（※対象箇所：布基礎、独立基礎、くい基礎用１階床スラブ、くい基礎１階床束用基礎基礎及び補強床束ベース）
~~土間コン（無筋の場合）：１８Ｎ／平方ミリ以上とする。~~

特記なき限り下記仕様

S 1	補強土間スラブ ｔ＝１５０ 短辺方向：Ｄ１０@２００ 長辺方向：Ｄ１０@２００
S 2	補強土間スラブ ｔ＝１５０ 短辺方向：Ｄ１０@１５０ 長辺方向：Ｄ１０@２００

凡 例

：補強床束ベース
：補強土間スラブ
：屋外粒状防蟻剤

投入図
'26.10.21
（大和ハウス工業（株））

0518820160800０　2026/10/5

記事

※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

大和ハウス工業株式会社
富山支店 集合住宅一級建築士事務所

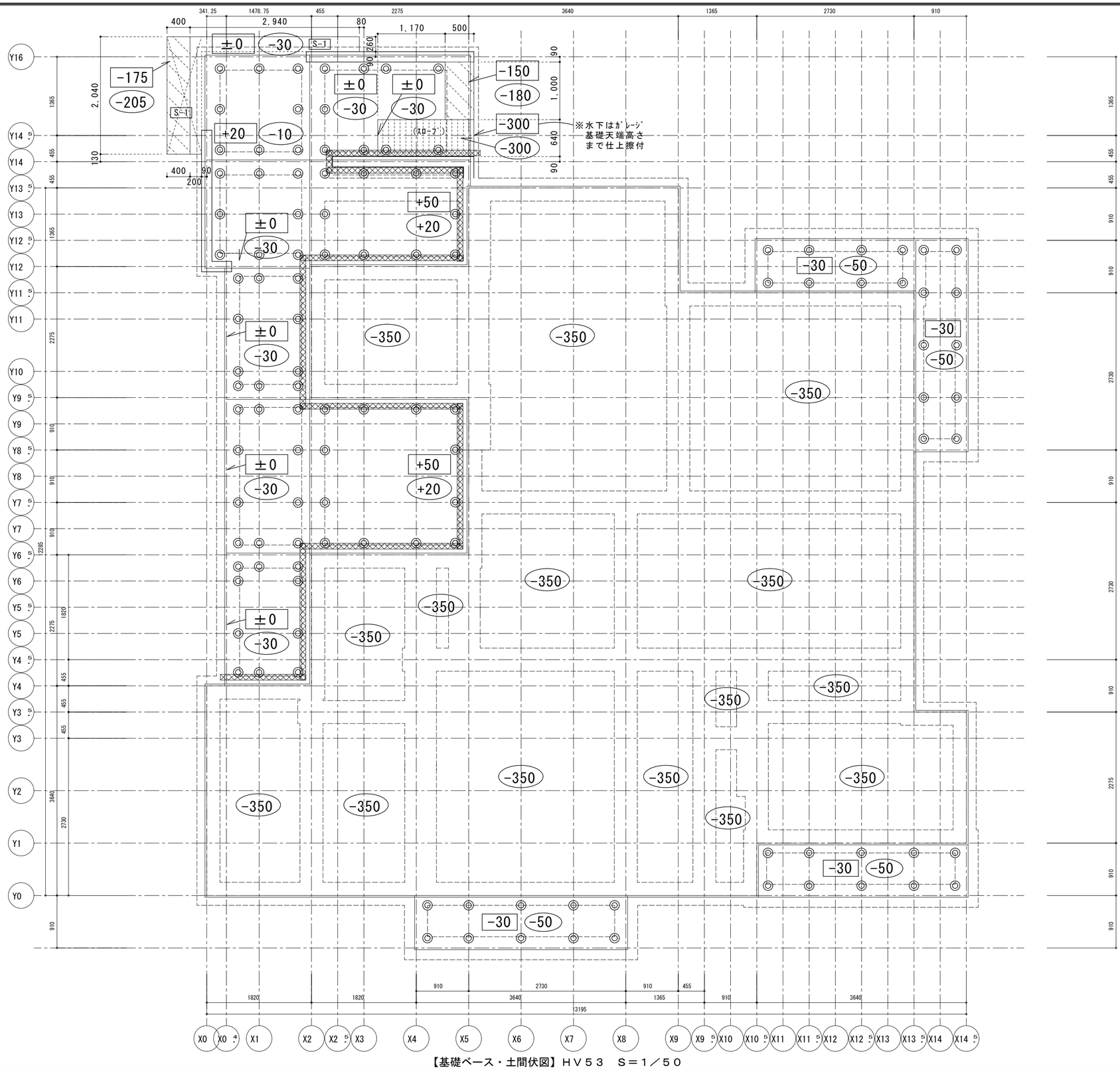
承認	照査	代表となる設計者
	杉	一級建築士　第352400号 杉　紗織
その他の設計者		

企画製図	生産製図	ＩＣ
宮崎	大連 （名古屋）	

工事名称	D−Grande布瀬E　新築工事
図面名称	各伏図

作成年月日	
縮　尺	
工事番号	0512571100002
図面番号	S−04
保管図面区分	【伏図】

Ver　26091　102140



特記なき限り下記仕様

Ｓ１	補強土間スラブ ｔ＝１５０ 短辺方向：Ｄ１０@２００ 長辺方向：Ｄ１０@２００
Ｓ２	補強土間スラブ ｔ＝１５０ 短辺方向：Ｄ１０@１５０ 長辺方向：Ｄ１０@２００

凡例

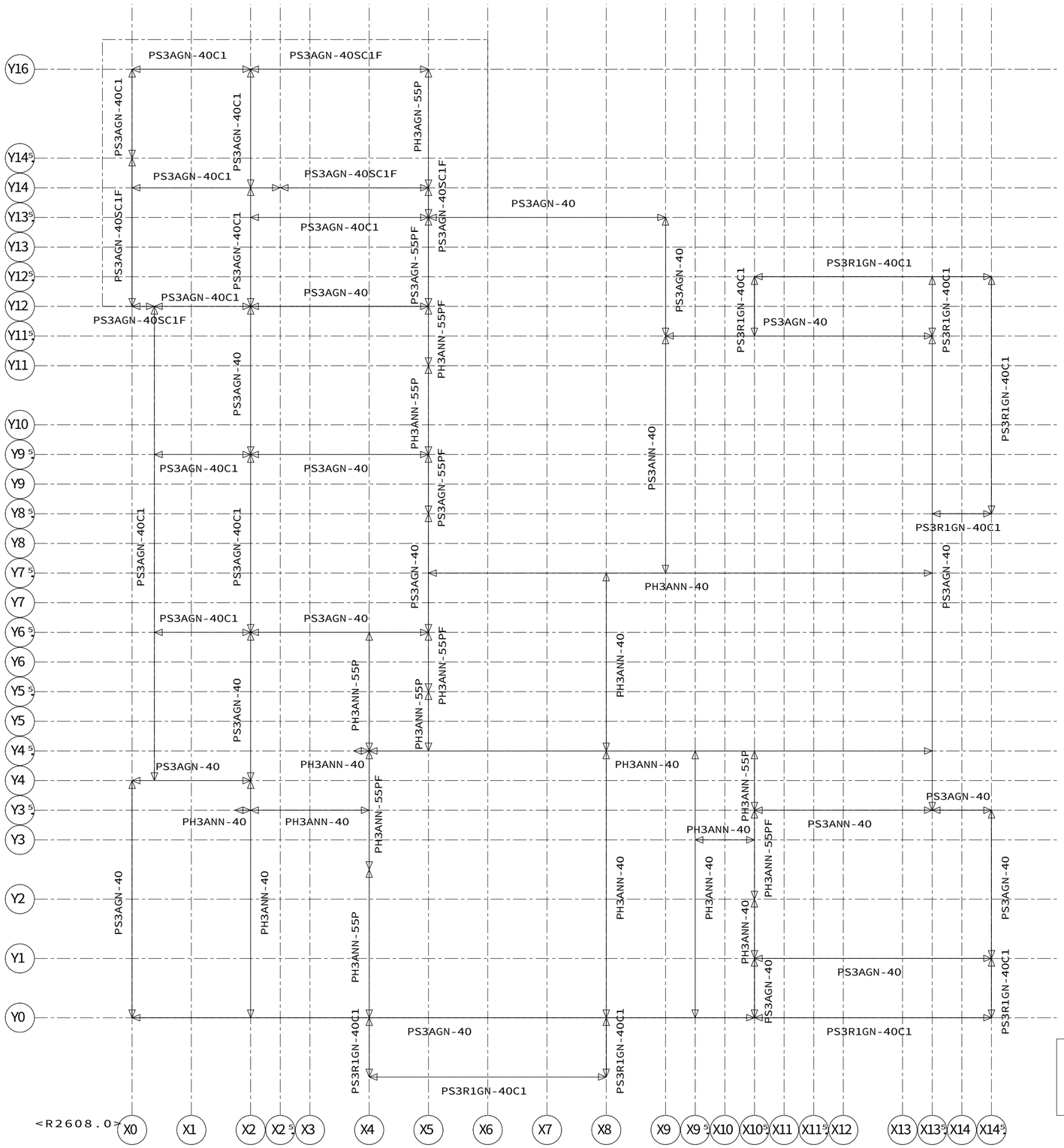
- ±○○：基礎天端からの仕上げレベル
- (±○○)：基礎天端からの土間天レベル
- ◎：ＶＵ管

土間仕様
補強土間スラブ 土間コンクリート　ｔ＝１５０

投入図 '26.10.21

記事	※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。	大和ハウス工業株式会社 富山支店　集合住宅一級建築士事務所	承認	照査 杉	代表となる設計者 一級建築士　第352400号 杉　紗織	工事名称	Ｄ－Ｇｒａｎｄｅ布瀬Ｅ　新築工事	作成年月日	図面番号 Ｓ－０４－１
			その他の設計者		企画製図 宮崎 / 生産製図 大連 (名古屋) / ＩＣ	図面名称	基礎付帯図	縮尺 工事番号 0512571100002	保管図面区分 【伏図】

05188201608000　2026/10/5



凡例

基礎範囲を示す

【基礎入力図】ＨＶ５１　Ｓ＝１／５０

投入図
'26.10.21
大和ハウス工業（株）

05188201608000　2026/10/5

記事

※本図面の縮尺はA2サイズを標準としています。A3サイズに印刷の場合は約71%に寸法が縮小されます。

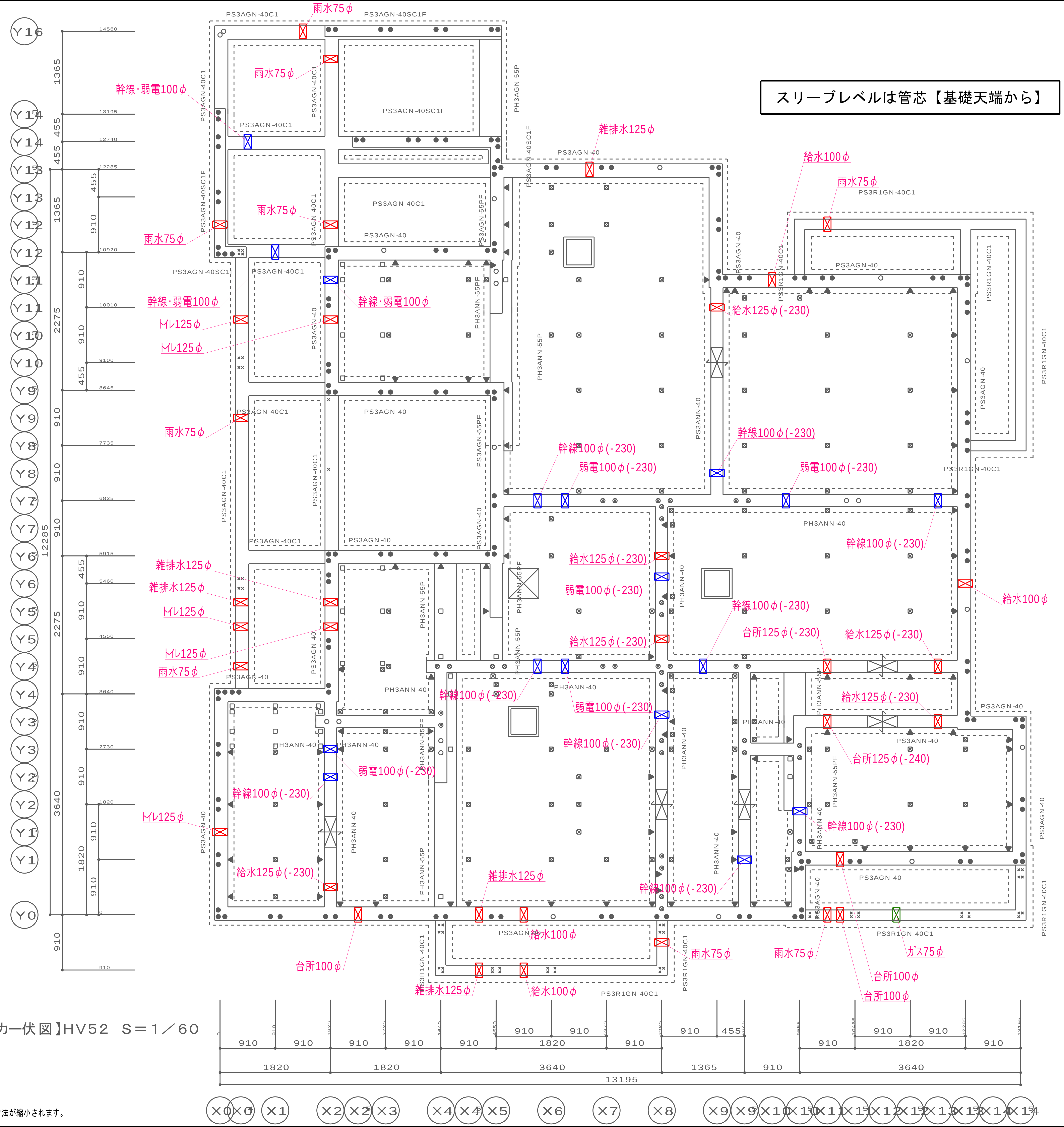
大和ハウス工業株式会社

富山支店 集合住宅一級建築士事務所

承認	照査	代表となる設計者
	杉	一級建築士　第352400号 杉　紗織
その他の設計者		企画製図：宮崎　生産製図：大連（名古屋）　ＩＣ

工事名称	Ｄ−Ｇｒａｎｄｅ布瀬Ｅ　新築工事	作成年月日	図面番号 Ｓ−05
図面名称	各伏図	縮尺	保管図面区分 【伏図】
		工事番号 0512571100002	

Ver　26091　　102140

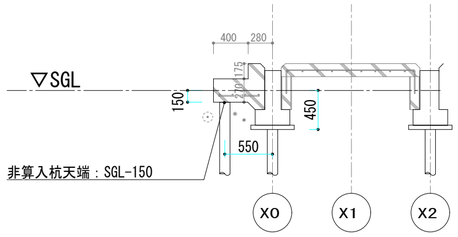


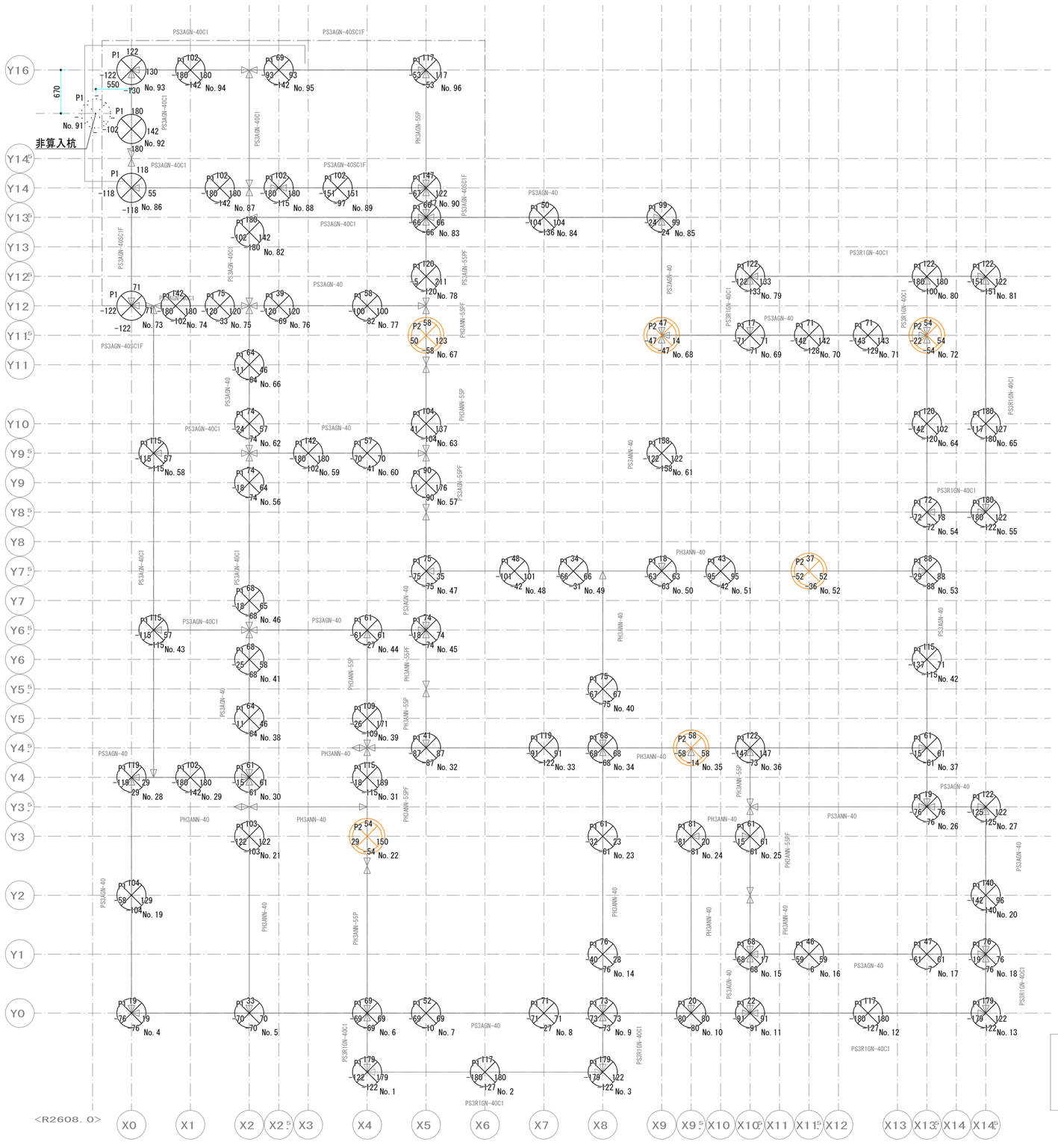
【基礎立上り・アンカー伏図】HV52　S＝1／60

投入図
'26.10.21

※本図面の縮尺は　A2 サイズを標準としています。 A3 サイズに印刷の場合は約　71 %に寸法が縮小されます。

記事	大和ハウス工業株式会社 富山支店　集合住宅一級建築士事務所	工事名称	D－Grande布瀬E　新築工事	作成年月日 2026/10/14	図面番号 S－5－1
				縮尺 S=1/50	
		図面名称	スリーブ図	工事番号	保管図面区分 伏図



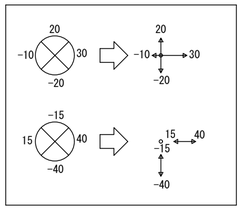


【基礎入力図】ＨＶ５１　Ｓ＝１／５０

凡例

基礎範囲を示す

<杭芯ずれ凡例>



<杭凡例>

杭仕様（Ｐ１）	ＡＬＫＴＯＰⅡ［１１３０Ｈ］	
	杭径　φ114.3mm	長期許容支持力　87.7kN
	肉厚　4.5mm	
	先端翼径　300mm	
	杭長　2.58m	
	杭頭ｷｬｯﾌﾟ径　139.8mm	本数　90本

杭仕様（Ｐ２）	ＡＬＫＴＯＰⅡ［１３４２Ｍ］	
	杭径　φ139.8mm	長期許容支持力　120.0kN
	肉厚　4.5mm	
	先端翼径　420mm	
	杭長　2.60m	
	杭頭ｷｬｯﾌﾟ径　165.2mm	本数　6本

投入図 '26.10.21 大和ハウス工業（株）

記事　※本図面の縮尺はＡ２サイズを標準としています。Ａ３サイズに印刷する場合は約７１%寸法が縮小されます。

大和ハウス工業株式会社

富山支店　集合住宅一級建築士事務所

承認 管理建築士	照査	代表となる設計者		
	杉	一級建築士　第352400号 杉　紗織		
その他の設計者		企画製図	生産製図	ＬＣ
		宮崎		

工事名称	Ｄ－Ｇｒａｎｄｅ布瀬Ｅ　新築工事	作成年月日	2026/10/17	図面番号	Ｓ－５－２
		縮尺	Ｓ＝1:50		
図面名称	杭伏図	工事番号		保管図面区分	配置図